

The background features a decorative graphic consisting of three blue circles of varying sizes and two thin blue lines. One large circle is at the top center, a smaller one is below it to the right, and a very large one is at the bottom right. Two thin lines intersect at the top left and extend towards the circles.

2022（令和4年度）

事業報告書

社会福祉法人 十条龍谷会

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 法人概要..... | 2 |
| 法人..... | 3 |
| 1. 総括 | |
| 2. 理事会開催状況 | |
| 3. 評議員会の開催状況 | |
| 4. 評議員選任・解任委員会の開催状況 | |
| 5. 理事・監事の状況 | |
| 6. 評議員の状況 | |
| 7. 評議員選任・解任委員の状況 | |
| 8. 借入金返済状況 | |
| 9. 行政監査等 | |
| 10. 社会貢献活動 | |
| 施設部..... | 9 |
| 1. 特別養護老人ホーム（短期入所生活介護含む） | |
| 地域部..... | 11 |
| 1. 居宅介護支援事業所 | |
| 2. 訪問介護事業所 | |
| 3. 就労継続支援事業所 | |
| 4. 介護員養成研修事業 | |
| 決算・その他 | 14 |

法人概要

1. 法人の名称 社会福祉法人 十条龍谷会
2. 主たる所在地 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町 40 番地 1
3. 代表者名 理事長 川邊 藏祐
4. 法人認可年月日 平成 16 年 12 月 18 日
5. 法人認可番号 京都市指令保福監第 89 号
6. 法人設立年月日 平成 16 年 1 月 5 日
7. 法人の実施する事業

| 事業区分 | 種別 | 事業所名 | 定員 | 事業認可日 | 事業所番号 |
|---------------|-------------------|-------------------------------|-----|------------------|------------|
| 第一種 社会福祉事業 | 介護老人福祉施設 | 特別養護老人ホーム ビハーラ十条 | 100 | 平成 17 年 4 月 1 日 | 2670500350 |
| 第二種 社会福祉事業 | (予防) 短期入所 生活介護 | 特別養護老人ホーム ビハーラ十条 | 8 | 平成 17 年 4 月 1 日 | 2670500350 |
| | (予防) 訪問介護 事業所 | 訪問介護事業所 ビハーラ十条 | | 平成 25 年 10 月 1 日 | 2670500350 |
| | 介護型ヘルプサー ビス | 訪問介護事業所 ビハーラ十条 | | 平成 27 年 4 月 1 日 | 2670500350 |
| | 生活支援型ヘルプ サービス | 生活支援型ヘルプサ ービス事業所ビハー ラ十条 | | 平成 29 年 4 月 1 日 | 26A0500049 |
| | 支え合い型ヘルプ サービス | 支え合い型ヘルプサ ービス事業所ビハー ラ十条 | | 平成 29 年 4 月 1 日 | 26A0500056 |
| | 就労継続支援 A 型 | 就労継続支援事業所 ビハーラ十条 | 10 | 平成 28 年 10 月 1 日 | 2610581692 |
| | 就労継続支援 B 型 | 就労継続支援事業所 ビハーラ十条 | 10 | 平成 30 年 4 月 1 日 | 2610581692 |
| 公益事業 | 居宅介護支援事業 | 居宅介護支援事業所 ビハーラ十条 | | 平成 24 年 10 月 1 日 | 2670500350 |
| | 介護員養成事業 | 初任者研修事業 ビハーラ十条 | | 平成 27 年 10 月 1 日 | |

1. 総括

今年度においても職員、お客様の新型コロナウイルス陽性者が度々判明し、対応に追われる一年であった。職員は3日ごとに抗原検査を実施し、陰性でも感冒症状が少しでもあれば休ませるなど徹底して対策していたが、感染力が非常に強いオミクロン株の感染を防ぐことは困難であった。陽性者が判明すれば特別養護老人ホームと短期入所生活介護の新規受け入れを制限せざるを得ず、稼働率は低下し、事業収入減少の要因となった。前年度の感染対策を教訓とし、今年度は特別養護老人ホームで陽性者が判明しても、他の事業には極力影響させないようにした結果、拠点内の障がい事業（就労継続支援A・B）は収入増となった。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻により世界的な物価高騰や光熱費の値上げといった外的要因と、新型コロナウイルス感染に伴う施設利用制限という機会損失が今年度の収支悪化の主な要因である。このような状況ではあるが、特養の全居室ベッドを（補助金を活用）更新できたことや駐輪場の一部を改装し事業スペースを拡大できたことは、今後のサービス向上へと繋がる取り組みとなった。

毎年度4,000万円の法人設立時の建築設備資金の借入返済も残すところあと2年と完済の目途がたってきましたが、設備や備品等の老朽化による修繕や買替のコスト増加と採用コストの増加が今後の課題である。

2. 理事会の開催状況

| 開催年月日 | 出席数 | 主な議案等 |
|-------------|---------------------------|---|
| 2022年5月31日 | 【理事】6名 【監事】2名 決議の省略 | 1 令和3年度第二次補正予算（案） 2 令和3年度事業報告（案） 3 令和3年度決算報告（案） 4 評議員会招集事項（案） 5 育児休業規程変更（案） |
| 2022年10月25日 | 【理事】6名 【監事】2名 決議の省略 | 1 給与規程変更（案） |
| 2022年12月31日 | 【理事】6名 【監事】2名 決議の省略 | 1 令和4年度第一次補正予算（案） |
| 2023年3月31日 | 【理事】6名 【監事】2名 決議の省略 | 1 令和4年度第二次補正予算（案） 2 令和5年度 事業計画（案） 3 令和5年度 予算計画（案） 4 資金運用計画（案） 5 役員等賠償責任保険（案） 6 給与規程変更（案） 7 特養運営規程変更（案） 8 短期運営規程変更（案） 9 就業規則変更（案） 10 トイレ便座及びバルブユニット交換工事（案） 11 車輻運搬具買替（案） |

3. 評議員会の開催状況

| 開催年月日 | 出席数 | 主な議案等 |
|------------|--------|----------------|
| 2022年6月15日 | 【評議員】名 | 1 令和3年度決算報告（案） |

4. 評議員選任・解任委員会の開催状況

| 開催年月日 | 出席数 | 主な議案等 |
|-------|-----|-------|
| 開催なし | | |

5. 理事・監事の状況（令和5年3月31日現在）

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|------|-------|----------------|
| 理事長 | 川邊 藏祐 | 親族 |
| 常務理事 | 川邊 浩藏 | 親族 |
| 理事 | 釋 晃 | |
| 理事 | 仲谷 善弘 | |
| 理事 | 若原 道昭 | |
| 理事 | 岡本 康宏 | 職員 特別養老人ホーム施設長 |
| 監事 | 村山 惟子 | |
| 監事 | 大浦 充雄 | |

6. 評議員の状況（令和5年3月31日現在）

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|-----|-------|--------------|
| 評議員 | 室 敷隆 | ビハーラ十条家族会 会長 |
| 評議員 | 野間 克博 | |
| 評議員 | 大場 秀住 | |
| 評議員 | 水谷 睦美 | |
| 評議員 | 安岡 弘志 | |
| 評議員 | 田中 崇則 | 京都市会議員 |
| 評議員 | 赤穂 尚範 | 司法書士 |

7. 評議員選任・解任委員の状況（令和5年3月31日現在）

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|----|-------|----|
| 委員 | 村山 惟子 | |
| 委員 | 原 健 | |
| 委員 | 研 義之 | 職員 |

8. 借入金返済状況

借入先 社会福祉・医療事業団（建設資金）

| | |
|-----|---------------|
| 元 金 | 801,000,000 円 |
| 償還金 | 40,050,000 円 |
| 利 息 | 1,802,250 円 |
| 残債務 | 80,100,000 円 |

借入先 京都銀行 九条支店（設備資金）

| | |
|-----|--------------|
| 元 金 | 70,000,000 円 |
| 償還金 | 6,570,000 円 |
| 利 息 | 292,608 円 |
| 残債務 | 54,670,000 円 |

借入先 社会福祉・医療事業団（経営資金）※新型コロナウイルス対応支援資金

| | |
|-----|--------------|
| 元 金 | 60,000,000 円 |
| 償還金 | 0 円 |
| 利 息 | 0 円 |
| 残債務 | 60,000,000 円 |

9. 行政監査等

社会福祉法人等指導監査及び業務管理体制の検査

| | |
|------|---------------------------------------|
| 対象事業 | 社会福祉法人 十条龍谷会 |
| 実施日 | 令和 5 年 1 月 20 日 |
| 結 果 | 指摘事項 財務管理について 口頭指摘事項 法人運営、財務管理について |

介護保険サービス事業者に対する実地指導

| | |
|------|--|
| 対象事業 | 訪問介護事業所 |
| 実施日 | 令和 4 年 5 月 25 日 |
| 結 果 | 文章により指摘する事項なし 口頭指摘事項 重要事項説明書、訪問介護計画について |

障がい福祉サービス事業に対する実地指導

| | |
|------|---|
| 対象事業 | 就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型 |
| 実施日 | 令和 5 年 1 月 26 日 |
| 結 果 | 文書により指摘する事項なし 口頭指摘事項 サービス提供実績記録票について |

第三者評価

| | |
|-------------|------------------|
| 実施をした直近の年月日 | 令和5年3月29日 |
| 実施した評価機関の名称 | 京都府認知症グループホーム協議会 |
| 評価結果の開示状況 | ホームページ |

10. 社会貢献活動

■ ネットワーク活動（他機関との連携活動）

| | |
|-----------------------|------------------|
| 南区認知症サポートネットワーク（みなサポ） | 代表：増田良平 構成員：石井勇亮 |
| 新千本ネットワーク | 代表：増田良平 委員：左近華子 |
| 南区地域包括支援センター運営協議会 | 委員：増田良平 苅谷庸平 |
| 南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議 | 世話人：左近華子 苅谷庸平 |
| みなみ主任けあまねっと | 構成員：石井勇亮 |
| 京都府介護支援専門員会 | ブロック委員・代議員：苅谷庸平 |
| 中部就労支援事業所部会 | 委員：櫻井祥太 |
| 南区プラットフォーム推進事業 | 委員：櫻井祥太 |
| 南区心の健康を考える会 | 委員：櫻井祥太 |
| 京都中小企業家同友会 COCO ネット | 委員：中澤そよ子 |

■ 地域に関する活動協力（他機関との連携活動）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 上鳥羽学区夏祭り【計：0名】 | 感染症拡大防止のため開催なし |
| 上鳥羽学区餅つき【計：0名】 | 感染症拡大防止のため開催なし |
| 十条団地地藏盆【計：0名】 | 感染症拡大防止のため開催なし |
| 十条団地餅つき【計：0名】 | 感染症拡大防止のため開催なし |
| 上鳥羽南部いきいきセンター健やかサロン | 【毎月2回開催】 |
| 上鳥羽民生児童委員会イベント | 感染症拡大防止のため開催なし |
| その他地域住民集いの場 (介護予防・メンタルケア等のための音楽療法) | 桂学区社協:感染症拡大防止のため開催なし 西寺育成苑(障がい者親子の会) 【年1回開催:約30名参加】 久世いきいき市民 :感染症拡大防止のため開催なし 向日市寺戸社協 :感染症拡大防止のため開催なし 向日市鶏冠井社協 【年1回開催:約30名参加】 西陣会(障がい者親子の会) 【年1回開催:約20名参加】 |

■ 地域での介護予防教室（法人独自活動）

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>あおに憩いの広場【計：約 1,430 名】</p> | <p>介護予防のための音楽療法教室 【毎週 1 回】</p> <p>介護予防のためのストレッチ教室 【毎週 2 回】</p> <p>書道・ちぎり絵（芸術療法講座） 【毎週 1 回】</p> <p>生け花教室 【毎月 1 回】</p> <p>茶道クラブ 【毎月 1 回】</p> <p>地域交流喫茶 【毎週 1 回】</p> <p>介護予防・相談窓口 【毎週 2 回】</p> <p>訪問型サービス（支え合い型養成講座） ：感染症拡大防止のため休止</p> <p>各教室＝毎回 5～10 名程度参加</p> |
| <p>十条団地集会場【計：約 320 名】</p> | <p>介護予防のための音楽療法教室 【毎月 1 回開催】</p> <p>歌声喫茶 【毎月 2 回開催】</p> <p>各教室＝毎回 5～10 名程度参加</p> |
| <p>上鳥羽北部いきいきセンター</p> | <p>介護予防のための音楽療法教室</p> <p>介護予防のためのボイストレーニング</p> <p>介護予防のためのカラオケ教室 ：感染症拡大防止のため休止</p> |
| <p>上鳥羽南部いきいきセンター【計：約 350 名】</p> | <p>介護予防のための音楽療法教室 【毎月 1 回開催：約 12 名参加】</p> <p>介護予防のためのボイストレーニング 【毎月 1 回開催：約 12 名参加】</p> <p>芸術療法（造形・書道教室） 【毎月 1 回開催：約 5 名参加】</p> |

■ 地域での精神障がいを持つ方の集まる場所づくり（法人独自活動）

| | |
|----------|------------------------------|
| あおに憩いの広場 | こころひと息カフェ 【毎月1回開催：1～2名参加】 |
|----------|------------------------------|

■ 地域での子供の集まる場所づくり（法人独自活動）

| | |
|----------------|----------------------------------|
| ビハーラ十条地域交流センター | こども音楽サロン（リトミック） ：感染症拡大防止のため休止 |
|----------------|----------------------------------|

1. 総括

【収入】

目標稼働率（特別養護老人ホーム・短期入所生活介護）97.0%に対し95.38%と目標未達成となった。その要因として、ほぼ毎月施設内で新型コロナウイルスの感染が発生し、感染拡大防止から特別養護老人ホーム・短期入所生活介護の新規受け入れを中止したことが影響している。

| | 感染発生 | 感染数 | | | 新規受入 中止日数 |
|----|-------------------|-----|-----|----|--------------|
| | | 職員 | お客様 | 計 | |
| 1 | 職員から感染発生 | 2 | 3 | 5 | 17 |
| 2 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 3 | 短期入所生活介護お客様から感染発生 | 1 | 3 | 4 | 16 |
| 4 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 5 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 6 | 短期入所生活介護お客様から感染発生 | 2 | 1 | 3 | 9 |
| 7 | 短期入所生活介護お客様から感染発生 | 4 | 1 | 5 | 8 |
| 8 | 職員から感染発生 | 4 | 5 | 9 | 13 |
| 9 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 10 | 短期入所生活介護お客様から感染発生 | 4 | 8 | 12 | 13 |
| 11 | 短期入所生活介護お客様から感染発生 | 1 | 1 | 2 | 7 |
| 12 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| 13 | 職員から感染発生 | 2 | 3 | 5 | 10 |
| 14 | 職員から感染発生 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| | | 26 | 25 | 51 | 135 |

【支出】

以下の点から予算を大きく上回る結果となった。

- ① 看護師派遣サービスの長期間利用
- ② 介護職の紹介サービスを利用
- ③ 光熱費の単価高騰（8月から例年の約1.9倍の支出）
- ④ 新型コロナ感染発生による感染対応特別手当支給・感染防止に関連する物品の購入
- ⑤ 設備や備品等の老朽化による修繕

新型コロナ感染発生により職員数が不足した環境下においても、委員会を中心に研修動画を作成することで、全職員を対象とした内部研修を開催することができた。それに加え、ケアプランと連動した個別ケア強化のため、主任介護支援専門員による個別ケアプラン研修を開催し、その中で相談する機会を確保するなど、学びの場とメンタルヘルスを一体的に行う体制に着手した。

また、職員の主体性を促進するため、職種の領域を超えた活躍の場や、権限移譲から中間層を中心にすえた取り組み機会を確保するなど、これまで以上に将来の法人の担い手を育成する視点に特化した取り組みを行った。

2. 平均入所・短期入所稼働率

単位：%

| | 入所 | 短期 | 計 |
|----|-------|--------|--------|
| R4 | 90.6% | 155.7% | 95.38% |

3. 平均要介護度

| | 要介護度 |
|----|------|
| R4 | 3.9 |

4. 平均年齢

| | 年齢 |
|----|--------|
| R4 | 89.0 歳 |

5. 平均在所期間

| | 在所期間 |
|----|---------|
| R4 | 1,225 日 |

6. 入退所者数

| | 入所 | 退所 |
|----|------|------|
| R4 | 39 人 | 34 人 |

7. 防災

| | 実施日 | 実施内容 |
|----|------------|-----------------|
| R4 | 令和4年12月15日 | 自衛消防・避難訓練（夜間想定） |
| | 令和5年2月16日 | 自衛消防・避難訓練（昼間想定） |
| | 令和4年10月20日 | 洪水に関する避難確保訓練 |
| | 令和5年3月11日 | 京都市シェイクアウト訓練 |

8. 会議・委員会

計画通り実施

9. 研修

別紙参照

1. 居宅介護支援事業所

① 総括

令和4年度は新たに2名の介護支援専門員が加わった事もあり、特に人材育成に力を注いだ1年となった。育成内容として、直面している課題等の可視化・言語化を行うと共に、同行訪問から直接的指導を行い、より質の高い学びを得られるよう取り組みを行った。

また、各ケアマネジャーが物事をより多角的にとらえられる力を養うため、ケアマネジメントの振り返り(事例検討形式)を事業所内で12回・他法人で2回と勉強会を1回開催すると共に、個々で育成の観点から必要のある分野への研修・勉強会参加も積極的に行えた。そして、新たに主任介護支援専門員を1名が取得しており、事業所内全体の能力向上へとつながった。

ペーパーレス化の推進・ICTの活用においては、資料をPDF化し業務の効率化と経費削減につなげる事ができた。また、感染予防対策として事業所内のアルコール消毒の徹底と、体調不良時はテレワークへ移行するなどの取り組みを行い、事業所内での感染を未然に防止できた。

② 契約件数（令和5年3月31日現在）

| | |
|----|------|
| R4 | 142件 |
|----|------|

② 新規契約・契約終了

| | 新規契約数 | 契約終了数 |
|----|-------|-------|
| R4 | 40件 | 37件 |

④ 認定調査委託件数

| | 京都市 | 京都市以外 | 合計 |
|----|-----|-------|------|
| R4 | 93件 | 7件 | 100件 |

⑤ その他

| | | |
|----------------------|---------|-----|
| 南区地域包括支援センター運営協議会 | 会議 | 年4回 |
| みなみ主任けあまねっと | 会議 | 年9回 |
| | 研修会企画開催 | 年2回 |
| 他法人居宅介護支援事業所と共同研修 | 事例検討会 | 年1回 |
| 南区認知症サポートネットワーク | 会議 | 年5回 |
| 京都府介護支援専門員会 | 会議 | 年4回 |
| 南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議 | 会議 | 年4回 |
| | 研修会企画開催 | 年4回 |

2. 訪問介護事業所

① 総括

新型コロナウイルスの感染拡大により、前年度の2月に予定していた実地指導が延期となり、5月25日に実施された。

人財確保については、特別養護老人ホームの職員が訪問介護事業所と兼務することで、支援体制を強化することができた。しかし、新型コロナウイルス第7波・第8波により、お客様や職員から多数感染が発生したため、感染拡大防止の観点から兼務職員の支援を控えるなど、感染状況に左右される運営となった。そのような中でも、お客様の在宅生活が維持するため、その時にできる最大限の取り組みを行ったことで、お客様やご家族様から更なる信用を得ることができた。

人財育成と定着については、個人面談から各ヘルパーの課題を明確化し、研修や同行訪問で個別にフォローを行った。また、欠勤時に職員間で助け合う支援体制を強化したことで、全職員で事業を運営していくという意識が生まれ、チーム力の向上につながった。それにより、退職者を一人も出すことなく定着させることができた。

サービスの質の向上については、支援内容について改善を要する案件が発生した際には、定例会議で事例検討を行い、課題の全体共有と、問題解決過程を通して教育の機会を得ることができた。

② 契約件数（令和5年3月31日現在）

| | |
|----|-----|
| R4 | 67件 |
|----|-----|

③ 新規契約・契約終了

| | 新規契約数 | 契約終了数 |
|----|-------|-------|
| R4 | 13件 | 10件 |

3. 就労継続支援事業所

① 総括

重点目標の職員採用を計画通り進めることができ、人員体制強化からより迅速に対応できる環境を整えることができた。また、利用者数の増加に対し、活動・休憩スペースの明確な区別を行うため改築を行った。

感染対策として、事業所内の基本的な感染防止対策の実施や、利用者に高齢者施設における感染拡大防止の指導を行うことで、新型コロナウイルスによる休業が想定以上に少なく、計画以上の利用率で年間を推移することができた。

利用率においては、B型は契約をしても心身状況により通えない利用者が多く、結果的に契約終了者数が新規契約者数を上回ったが、A型においては新規契約者数が契約終了者数を上回る結果となった。

【就労継続支援 A 型事業所】

① 契約人数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

| | |
|-----|------|
| R 4 | 15 名 |
|-----|------|

② 新規契約・契約終了

| | 新規契約数 | 契約終了数 |
|-----|-------|-------|
| R 4 | 4 名 | 2 名 |

③ 契約割合（令和 5 年 3 月 31 日現在）

| | 精神障害保健福祉手帳 | 療育手帳 | 身体障害者手帳 |
|-----|------------|-------|---------|
| R 4 | 66.7% | 33.3% | 0% |

【就労継続支援 B 型事業所】

① 契約人数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

| | |
|-----|-----|
| R 4 | 6 名 |
|-----|-----|

② 新規契約・契約終了

| | 新規契約数 | 契約終了数 |
|-----|-------|-------|
| R 4 | 3 名 | 5 名 |

③ 契約割合（令和 5 年 3 月 31 日現在）

| | 精神障害保健福祉手帳 | 療育手帳 | 身体障害者手帳 |
|-----|------------|-------|---------|
| R 4 | 83.3% | 16.7% | 0% |

④ 就労体験・実習受入

| | 延べ日数 | 延べ人数 |
|-----|------|------|
| R 4 | 56 日 | 68 人 |

【就労体験・実習受入状況】

京都市社会福祉協議会 チャレンジ就労体験
 京都府立京都障害者高等技術専門校
 京都教育大学附属高等学校
 はあとふるアイリス
 呉竹総合支援学校
 京都市南部障害者地域生活支援センターかけはし
 京都障害者職業相談室
 相談支援事業所 GIFT
 相談支援事業所 ころ
 就労移行支援事業所 アステップ むろまち
 公共職業安定所 西陣、伏見、七条

4. 介護員養成研修事業（初任者研修事業）

今年度も新型コロナウイルス感染対策を徹底した中での研修開催を行った。今年度は家庭を持つ女性の受講から、短時間で長期にわたる研修カリキュラムとしたことで、欠席による個別指導の回数を減少させることができた。

また、施設介護職員（非常勤）が受講したことで、訪問介護員として勤務可能な職員を2名増員することができた。講師を努める職員も介護職員から2名、看護職員から1名増員し、介護副主任3名も研修講師を行うことで、介護の基本を振り返ると共に、他フロアの状況把握や、それをもとにした意見交換を行うことができた。

決算報告

- | | |
|-------------|----------|
| ① 資金収支予算書 | ※別紙報告書参照 |
| ② 資金収支計算書 | ※別紙報告書参照 |
| ③ 事業活動収支計算書 | ※別紙報告書参照 |
| ④ 貸借対照表 | ※別紙報告書参照 |
| ⑤ 財産目録 | ※別紙報告書参照 |

その他

① 各種団体加入状況

京都市老人福祉施設協議会 近畿老人福祉施設協議会
京都府社会福祉法人経営者協議会
全国社会福祉法人経営者協議会
京都府社会福祉法人経営青年会 近畿青年経営者会 全国社会福祉法人経営青年会
南区社会福祉協議会
南防犯協会

② 所属関係団体等活動

京都市老人福祉施設協議会 人材確保定着委員会 : 岡本康宏
京都市老人福祉施設協議会 施設ケア委員会地域会合 : 沖田夏奈
京都市老人福祉施設協議会 ハートメッセンジャーブロックリーダー : 市川萌子
京都市老人福祉施設協議会 ハートメッセンジャー : 榎木温子・市川萌子・馬場真孝
南区認知症サポートネットワーク 代表 : 増田良平 構成員 : 苅谷庸平
新千本ネットワーク 副代表 : 増田良平 委員 : 左近華子
南区地域包括支援センター運営協議会 委員 : 増田良平
南区介護保険サービス事業者等連絡調整会議 世話人 : 左近華子
下京西部医師会医療福祉交流ネットワーク委員会 委員 : 苅谷庸平
中部就労支援事業所部会 運営委員 : 櫻井祥太
南区こころの健康を考える会 運営委員 : 櫻井祥太
南区プラットフォーム推進事業 : 櫻井祥太